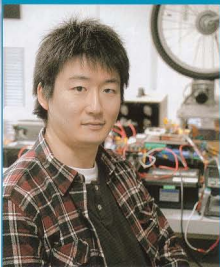


環境負荷低減の視点で パワーエレクトロニクス を研究

工学研究科
電気電子工学専攻
修士1年
大阪府出身

安宅 亮



私は計測制御エネルギー分野の研究室で、「電動機の振動低減についての研究」に取り組んでいます。どうすればモータの振動を減らし、スムーズに動かせるかという研究です。今の社会においては、モータが使用される場面は多く、省エネや高効率化は必須の課題です。モータの振動はエネルギーの非効率使用であり、振動低減は環境負荷を小さくすることに通じます。現在研究の対象としているのは、ブラシレスDCモータです。このモータを選んだ理由は、ブラシレスのために音が静かで寿命が長く、身近な家電製品にも採用されているからです。ブラシの摩擦による騒音・火花や電氣的ノイズ発生が無く、磨耗しないこと、接触不良などの故障がないことが長所とされています。まだ実験の手法について研究している段階ですが、振動低減が実現すれば日常生活の快適性に役立てると 생각합니다。

成績だけで進路を選ばないという 考え方も大切

成績で進路を選ぶ場合が多いかもしれませんが、やりたいことを見つけて受験することも大切と思います。私は数学が苦手で、文系・理系の選択に迷い、成績でいくかやりたいほうにいくか悩みました。しかし中学時代から生活に密着した家電製品に興味があり、小さなものを修理して家族に喜ばれたことが一層関心を深めました。やはり電気に進みたいと決め、苦手克服に挑戦。数学を真剣にやり始めました。理系では数学を道具として使っていかななくてはなりません。やりたいことが明確になれば、苦手は克服できると思います。